

めざす子ども像

・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
・ 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

豊かな心を育み、地域を大切にし、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす学校支援活動の促進と地域全体で展開する美しく、安全・安心な繋がる地域づくり。

【今年度の取組紹介】

◆地域防災・減災への意識を高める取組の一つとして「防災フェスタ in 富南」の開催を継続していることで、地域・学校園・家庭が一つになり子どもたちと一緒にイベントを作り上げ、生徒、児童の防災への意識も高くなり、地域との結びつきも強くなってきています。

また、近隣及び地域の団体に協力を依頼し、防災教育・防犯教育を通して社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てています。

今年は異常気象による水害対策として、「土嚢リレー」を開催。遊びを通して災害の対処方法などを学びました。

地域教育協議会のマスコットキャラクター「とみにゃん」は地域に広く認知され、中学生のボランティア「とみにゃんクラブ」と教職員による新商品として「とみにゃん焼き」「とみにゃんせんべい」が誕生しました。

◆新たな取組として、様々な体験の中から自ら考え自ら行動する子どもを育てることを目的とする、小学生を対象としたボランティア「とみにゃん KIDS」が発足。「とみにゃんコンサート」や「防災フェスタ in 富南」、地域の福祉施設や自治会のお祭りのお手伝いなどを通して、積極的にあいさつをし、自ら考えてお手伝いができる子どもが増え、下の学年への思いやりも出てきました。



【今年度のまとめ】

「防災フェスタ in 富南」を積み重ねてきたことで、子どもたちや地域の防災への意識も年々高まり、自分たちがどのように動けばよいのかを自ら考える力を大きく身に付けてきています。また、防災フェスタで出会った方へのあいさつも増え、地域とのつながりも強くなってきました。

「とみにゃん KIDS」の活動を通して、子どもたちが自ら考え、自ら行動するようになり、「やればできる」「自分でも役に立てる」という自己効力感が育ってきました。また、子どもたちの「やりたい」を形にできるよう子どもたちの声に耳を傾け、一緒に活動内容を考えていきたいです。

【来年度に向けて】

地域防災・減災への意識を高め、結びつきを強くするために、内容を見直しつつ「防災フェスタ in 富南」を継続開催します。

また、リーダーシップをとれる子どもを育てるため「とみにゃん KIDS」の活動を展開させ、異年齢の人々と触れ合う経験や自然体験などができるよう地域や様々な団体に協力を要請していきます。

めざす子ども像

学びを大切にする園児・児童・生徒

仲間を大切にする園児・児童・生徒

命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

子どもたちが地域とのつながりを意識できる

学習環境整備・取組を充実する。

【今年度の取組紹介】

- 中学校区地域教育協議会の「自主的行動促進事業」としての「とみにゃんコンサート」、「防災フェスタ in 富南」といった協議会主催行事に、多数の生徒や教職員が部活動単位で協力および積極的に参画しており、地域との協働体制が定着してきています。また、吹奏楽部やギター・マンドリン部への地域からの演奏要請も増加し、本校運営委員会としての「地域交流事業」が広がりをみせています。ただ今年度は熱中症対応で少なからず地域行事が中止となったため、大切な協働の機会を失うこともありました。地域キャラクター「とみにゃん」の知名度も高くなってきました。今年度は「防災フェスタ in 富南」で地域ボランティアサークル「とみにゃんクラブ」の生徒たちが《富南焼》を調理し、せんべい とみにゃんストラップや手作りのストラップとともに販売することで「とみにゃん」を広報しました。本校の生徒が作詞・作曲した「とみにゃんの歌」も 学校ホームページにアップ、生徒が「キャリア教育事業」の職場体験で披露する等、幼小中連携のもと、中学校区の子どもたちが「知っている歌」になってきています。「とみにゃん」を共有しながら、地域の子どもたちがつながり育っています。地域では小学生の「とみにゃんKIDS」も始まりました。その体験やコミュニケーション能力が中学生の「とみにゃんクラブ」の活動を経て「地域活動の担い手」につながっていくことを願っています。
- 「環境整備・栽培事業」では、人的・物的支援をいただき地域の「花いっぱい運動」と生徒会活動、「とみにゃんクラブ」の活動により、温もりのある美しい学習環境づくりを進めることができています。今年度はPTA地域合同の夏の環境整備はできなかったものの、特にトイレ環境整備をご協力いただくことができました。
- 地域人材の協力を得ながら実施している「キャリア教育事業」(福祉体験・職場体験学習等)は、子どもたちが将来の職業を考える指針となっています。ポスターセッションではご協力いただいた地域事業所の方や地域の方々に参観いただくこともできました。地域の方々の協力により、生徒たちの表現力とコミュニケーション力を高める機会をつくることができっています。また、「教育活動支援事業」(情報教育支援・特別支援教育支援等)も継続支援いただいています。



富南焼
カスタード
入りです！



花いっぱい運動

【今年度のまとめ】

地域行事や地域教育協議会主催の行事に積極的また自然の流れとして参加・協力することが生徒・教職員に定着してきており、事業の取組が地域と生徒・学校、双方向の活性化、地域活動・学校活動それぞれの活動の認知や理解につながってきています。本校生徒作詞作曲の「とみにゃんの歌」の広報も園小中連携を示す取組となっていました。また、本校のめざす「美しい学校」づくりは本事業の地域の支えによる環境整備により充実推進できています。ただ本校に必要な教育活動支援や環境整備支援等の人材確保はまだ難しいのが現状です。

【来年度に向けて】

地域とともに子どもたちを育成する視点を大切に、いろいろな協働活動、キャラクターを活かした広報活動等や来年度から始まる取組により子どもたちの「自尊」「他尊」「地尊」の心を育てていきたいです。ホームページ等の情報発信もさらに充実していきたいです。

めざす子ども像

学びを大切にする園児・児童・生徒 仲間を大切にする園児・児童・生徒 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

- ・読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。
- ・地域の方々とのふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める。

【今年度の取組紹介】

本校はこれまで、地域の特性を生かした体験活動を実施することにより、地域の方とのふれあいを通して豊かな人間性の育成を図ってきました。自分たちが生活する地域社会と積極的に関わり、体験活動を通して学ぶ楽しさを味わうことで、地域を愛する心やより良い生き方・考え方を身につけることができると考えました。

地域の方の人材を生かした野の花ぶんこ読み聞かせ事業として、絵本読み聞かせ体験を設定

全学年全学級および特別支援学級（学習室）で、地域の方を迎え、情操力の向上を目指して、野の花ぶんこ絵本読み聞かせ事業を行いました。毎学期1時間ずつ全ての学級で、地域の野の花ぶんこの方々が、それぞれの学年の実態に即した絵本を読んできかせてくださり、児童は、とても楽しみにしています。教卓の上にもろうそくをのせて、その火をつけたり消したりすることで、幻想的な雰囲気もつくっていただいています。子どもたちは「絵本が好きになった。」「これからも、たくさん本を読みたい。」など、本に対する親しみがわき、表現能力の向上につながっています。また、本校では、たくさんの保護者の方に来ていただく絵本読み聞かせ事業（ファンタジータイム事業）も行い、学校全体で絵本に親しむ様々な取組を行っています。



【今年度のまとめ】

「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」「校内および地域の環境整備事業」「和楽器やお茶の体験など地域の人材を生かした学習」を柱に、学校・保護者・地域が協働して様々な取組を推進してきました。どの取組でも、ボランティアの方々に多大のご苦勞をいただいたが、事後、どの方も「学校に来て、元氣をもらった。」「気持ちの良い時間だった。」等の肯定的なご意見を多数いただいています。また、児童からも「昔遊びを一緒にやったのは、いつも下校を見守ってくださる方だ。」「グランドゴルフをおしえてくれたおばちゃん、私の近所の人です。」等の話を聞くことができました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができました。地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことができました。

【来年度に向けて】

あたえられた環境の中で、活動内容を深化発展させるとともに、地域の方々との絆をさらに深め、ボランティアおよびコーディネーターの人材発掘も今年度以上に積極的に進めていく必要があります。

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
- ・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
- ・ 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標**体験 発見 創造ひろがる「三碓学習」**

歴史ある「みつがらす」地域とのつながりを通した学習環境整備に取り組み、子どもたちに「みつがらす」とのつながりを感じさせることのできる取組にすること

【今年度の取組紹介】

「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」「米作り」など各学年で、テーマに基づき、様々な本物に触れる活動を行いました。これも長年本校を支えてくださる地域の方々のお蔭です。

書道の指導者を地元から招き、楽しく書道の基本から日本の伝統文化を学びました。また、地元を流れる富雄川を学習材に、児童の「なぜ?」「どうして?」という思いから課題設定し、様々な人と関わって水生生物を調べたり、それをまとめ、自分たちができる環境の守り方の発表をしたりしました。児童の疑問は専門的な知識や技術が必要なものもありました。そこで様々な専門分野の方々のご協力を得、児童は本物を体験することができました。

これこそ「三碓学習」です。また、豊かな感性や情操を育む事業として、1年を通しての「図書ボランティア」活動と「校内緑化整備」事業を継続しました。

**【今年度のまとめ】**

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者および地域の方々の強い願いです。様々な専門性をもった方々との出会いから、新たな人とのつながりが生まれました。その地域を愛する方々とともに本物を体験した児童は、地域「みつがらす」を愛し、郷土ならに誇りをもつことができました。ボランティアの方と進めてきた「校内環境整備事業」が根付き、今年度は学年を超えた子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に生きる」取組を行うことができました。

【来年度に向けて】

児童の自発的な思いに寄り添ったテーマを設定し、本物体験ができる「環境」と「人」を提供できるのかが今後の課題です。そのためにも、コーディネーターとの密な連携が重要です。次年度は、さらに校内緑化事業や他の事業を推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童を育てたいです。

めざす子ども像

学びを大切にする園児・児童・生徒 仲間を大切にする園児・児童・生徒 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

さまざまな経験、体験を積むことにより「豊かな心」「やる気」を育み「しなやかな身体」の育成を行うことにより、「生きぬく力」を身につけさせる。

【今年度の取組紹介】

「お話の会」の時間に”野の花文庫”の方に、年間9回来て頂き手遊びや素話、昔話などにふれる機会がありました。初めは、お話を聞いても内容が理解できなかった年少組でしたが、回数を重ねるうちに「今日はどんなお話かな？」と”野の花文庫”の方が来られるのを楽しみに待つようになりました。



素話では、絵本のように絵がない分、話を集中して聞くようになり、想像力を豊かにしお話の世界を楽しんでいます。また、音声ではなく生の声を聞く事で人の温もりや、その語り手の優しさを肌で感じているようで、お話が大好きな子どもたちに育ってきました。



また、サッカー教室では講師の先生の指導のもと、思いっきり体を動かす心地良さを教えていただきました。初めは、簡単な鬼ごっこから始まり少しずつルールが加わり複雑になっていきますが、ルールを守る事で成立するゲームの楽しさを感じているようです。今では、先生がいなくても自分たちでサッカーを楽しんでいます。

【今年度のまとめ】

お話の会、リトミック、ヒップホップ教室、サッカー教室、お茶会と講師の先生に一年間ご指導いただきました。また、地域のおじいちゃんやおばあちゃんたちにも園に来て頂き、年に二回交流をもつ事ができました。子どもたちの元気な歌声に目を細め一緒に歌ったり、肩をもんであげたりすると「きもちいいね」と、とても喜んで下さいました。それを聞いた子どもたちもとても幸せそうな表情でした。近年、核家族化になり、人との触れ合いが希薄になっている今、地域にはこんなにも温かく、優しく、自分たちを大切にしてくれる方々がいる事を感じた二日間でした。これからも、地域の方々との交流を大切に、地域を愛し、仲間を大切にする子どもたちに育って欲しいと願っています。

【来年度に向けて】

来年は年少組(4歳児)の入園が少なくなり小規模園になります。今後さらに、地域の方々や、保護者の方々の協力をいただきながら事業の継続を行い、「生き抜く力」を身につけられるよう内容を見直し、地域に根ざした園づくりに取り組んでいきたいと思います。

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
- ・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
- ・ 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

ぐんぐん 伸びよう 笑顔 いっぱいタイム

【今年度の取組紹介】

2年前から山本三歌代先生に運動遊びの講師として来ていただき、柔軟やふれあい遊び、体操、リズム運動等を教えていただいています。子どもたちがどのような体験をしているかを保護者にも経験していただけるように、今年度は年3回の内の1回を、土曜参観“親子であそぼう”の機会に実施しました。あと2回の“みんなであそぼう”では、各年齢に合わせた内容を取り入れてもらい、楽しんで体を動かす子どもたちの姿がありました。元気で楽しい先生とのコミュニケーションもとても喜んでいました。「楽しんで体を動かすことのできるよい取り組みである。」「友達の刺激を受けて取り組むことができるようになった。」等の保護者の声もありました。



園庭にある“わくわく畑”にはその時期の野菜や作物を育てています。今年度は初めてポップコーン用のトウモロコシを種から育てました。小さな苗を畝に植え替えたり、水やりや草抜きをしたり、トウモロコシができるまでを見守



ったり世話を続けました。地域の方が度々気にかけてくださり、畑の前を通る時には毎回様子を見てくださっています。地域の方のサポートで管理や収穫がスムーズにできました。トウモロコシを収穫し、一粒一粒実を外すことも経験しました。ポップコーンパーティーを心待ちにしていた子どもたちは、お代わりをして喜んで食べることができました。

【今年度のまとめ】

近年、体幹の弱い子どもたちが増えています。“みんなであそぼう”の運動遊びでは、柔軟やバランス等を意識し、楽しんで自ら進んでできるような内容であることから、身体機能の発達を高めることができました。また年齢に合わせて、簡単なルールを守って友達同士で楽しめる運動遊びも取り入れ、人に対する信頼関係や思いやりの心の育成につながりました。

トウモロコシをはじめ、いろいろな野菜や作物が育つまでの過程を、子どもたちと共に見守り世話をすることで、収穫への期待も大きく膨らみました。実際にトウモロコシの実を外したり、スナックエンドウの筋を取ったり等、手間暇を経験してから食べることで、食することの大変さや喜びを味わい、感動体験に繋がりました。

【来年度に向けて】

本年度の取組を継続し、次年度も定期的に指導講師を招聘したり、地域ボランティアの協力を得たりしながら、いろいろな体験を通して、豊かな感性や健やかな体づくりに取り組んで育んでいきたいです。